

総務会員交流委員会事業計画

総務会員交流委員会 委員長 山田 篤史

1 今、倉吉青年会議所は会員数が減少傾向にあります。そんな中、メンバー間の交流は出
2 来ているだろうか。我々を陰ながら支えてくれている家族は、青年会議所運動を理解して
3 くれていだろうか。明るい豊かな社会の創造をしていく為に、メンバー間で同じ志を持
4 つ事、またその目的を実現するには家族の協力なくしては出来ません。会員間の交流、家
5 族や地域他団体、各地青年会議所との交流を深める事が重要です。

6 まずは、1月定時総会や鳥取ブロック協議会2017年度会長公式訪問例会並びに(一社)
7 倉吉青年会議所(一社)東伯青年会議所2017年度2月合同定例例会、8月定時総会や
8 11月臨時総会が円滑に行われるよう委員会メンバーが一丸となり設営を行います。そし
9 て、桜ずもうの事業を今年度は会員全員で取り組み、委員会の垣根を越え倉吉青年会議所
10 メンバーが結束を深めていきます。また、地域のイベント事業をする事により、他団体や
11 地域住民との交流を図ります。さらに、地域他団体とはスポーツ交流会等を用いて友好を
12 深め、懇親会を行い、情報交換や意見交換の機会を増やします。また、鳥取ブロック協議
13 会や倉吉・東伯合同例会、そしてロマンチック街道313の主管として各地青年会議所と
14 の交流がとれるよう多くの会員の参加を促します。さらに、会員間や会員家族との親睦を
15 深めるため、家族親睦会を実施し会員間の絆を深め、会員家族に我々の運動内容を説明す
16 る事で青年会議所の魅力を理解してもらい、日頃の感謝を伝える場を作ります。そして様々
17 な事業や例会情報などをホームページやSNS等を利用し、タイムリーな情報を発信し地
18 域住民の皆様に運動内容などを発信していきます。

19 ホームページやSNS等での情報発信により、地元住民や各地青年会議所、他団体に運
20 動が周知されます。また、地元他団体や各地青年会議所と交流や親睦を深める事により、
21 繋がりが強化され、今後の協働事業に繋がります。会員全員が一致団結し、仲間と協力する
22 事で会員間の絆を得て、今後の青年会議所運動へ向けて組織力の向上を実現し、明るい豊
23 かな社会の実現に繋がります。

24 <事業計画>

- 25 1. 会員間の交流に関する事項
- 26 2. 総会、理事会、例会運営に関する事項
- 27 3. OB、関連諸団体との連絡、調整、交流、連携に関する事項
- 28 4. ホームページ、SNS等による情報の発信
- 29 5. 地域イベントに関する事項
- 30